

第4回勾当台公園再整備検討懇話会

議事要旨

日 時：令和4年4月15日（金）18:00～19:55

場 所：仙都会館8階会議室・リモート併用

出席者：本江座長、渡部座長代理、岩間委員、高山委員、姥浦委員(WEB)、福岡委員（WEB）、千葉建設局長、佐藤建設局次長、大黒百年の杜推進部長、福與同部公園管理課長、阿部同部公園整備課長、小山同部公園整備課主幹、鈴木青葉区建設部公園課長

1. 開会

事務局（建設局長）

－あいさつ－

2. 報 告

本江座長 議事次第に従って、まずは報告事項です。「(1) 第3回懇話会における意見の概要について」、「(2) 関連事業検討状況報告について」事務局から説明いただきたい。

事務局（公園管理課）

－資料1、参考資料1-1、参考資料1-2の説明－

本江座長 参考資料1-1と1-2は非常に重要なエリアなのでいろんなグループでいろんな議論と連携しながら調整して進めようというのは共通の意識だと思うが、これについて何かあればご指摘いただきたい。

福岡委員

勾当台公園は具体的な平面図やどういう形で再整備していくかはこれからだが、本庁舎建替事業の検討が、少しスピードが早いと思う。参考資料として、適切なタイミングで提供されると議論も深まりやすい。(広場の) 一体的利活用を中心となるエリアと連携すべきエリアとの線引きや道路を境にきっちり分かれているが、そのエリア分の考え方など、これから慎重に議論した方が良い。

福與課長

(関連事業については、) 今後も懇話会の場でその都度最新の情報を共有できるように進める。現在の3つのエリア分けの性格付けについて、議論が十分にできていないので、今後懇話会の議論を進め、公園側の考えを庁舎側の議論に投げかけていくことができれば良いと考えている。

3. 議 事

本江座長 次の議事「勾当台公園再整備の最終案」について事務局から説明いただきたい。

事務局（公園管理課）

－資料2の説明－

本江座長

今回は基本構想の最終案であり、次に基本計画がある。この懇話会が基本計画をチェックするという役割を引き続き持っており、基本構想を基に基本計画策定に着手する。後半の新しいパースについては、基本構想の参考図という位置づけを踏まえ、ご意見や確認事項などを指摘いただきたい。

渡部座長代理 4 ページのウォークアブル推進都市について「滞在快適性等向上区域」と、5 ページの「公園の分布図」を重ねて考えていくことが大事だと思う。まちなかウォークアブルに入っている都市公園をどう考えていくのかが必要。周辺があつてのウォークアブルになると思うので、公園の中身を考えるとときにもう少し周辺を拾いながら考えていくことが今後必要になっていく。

21 ページの右下のデッキテラスはゆったり寛げる場所だと思うが、19 ページの「みどりの回廊」と「にぎわいゾーン」と「いこいのゾーン」と分けた中で、空間の現状の質とこれを置いたときにどういう動線が生まれるのかを重ねて考えていくことが大事だと思う。どこに行くかによって、周辺の空間のたたくまいやまちづくりの緑の軸や奥行きなどが具体的になるので、こういったことが大事だと思う。

参考資料 1-1 の低層部の検討会で、中心となるエリアや連携すべきエリアという線を引くことによる影響、例えば整備コストの違いなど、教えていただきたい。

福與課長 庁舎低層部で4つの広場を作るという議論や、その広場と勾当台公園側の広場を一带に連携・分担しながら利用していくという議論があるが、デザインやコストについては今後の話になる。ウォークアブルについては基本計画でもう少し分析する必要がある。みどりの回廊については、街路樹と公園をつなぐ都心のパークシステムということで大切にしてきた考えであり、その拠点が勾当台公園である。そのことについて検討・分析していく必要がある。

21 ページのパスは基本構想の中では参考図であり、配置や施設は決まっていない。基本計画で基本構想のゾーニングを踏まえ、導入機能を整理し、動線計画等の検討を行う。

姥浦委員 参考資料 1-1 について、「一体的利活用の中心エリア」は本庁舎から見て、どこの空間と組みたいか、絶対に離してはいけない空間はどこかと考えたときに市民広場と表小路、つなぎ横丁まで中心となるエリアを広げるべきということ。

「連携すべきエリア」は市役所から見ると絶対に死守しなければならないというほどではないけれども、一体的に考えることは当然必要なエリアということ。線があるのでそれ以外は排除という線というよりは、ぼやっとした線という風に使っており、この後の社会実験等を進めていく上で、具体的に考えていくもの。

16 ページの動線アクセス手段に定禅寺通、一番町四丁目商店街と書いてあるが、市役所も重要なので、その言葉も入れていただきたい。

18 ページのコモンガーデン、「ひととまちをつなぐ交流・にぎわい拠点」について、交流・にぎわいの拠点というよりは、交流とゆとりの拠点にしてはどうか。

福與課長 動線アクセス手段については市役所の部分が抜けていたので資料に加えた。

コンセプトの「交流とにぎわい」は、ここでは様々なイベントがされるので交流とゆとりではにぎわいの表現が弱くなるので「交流とにぎわい拠点」という形にした。

岩間委員 構想の絵は構想とはいえすごく広いイメージで、開放的なイメージなので、「ゆとり」のほうが合う空間と思う。

サードプレイスという言葉に少し違和感があり、どちらかといえばオアシスとあるが、ほっと一息をつく、隣の人との距離はそれなりにある絵をイメージしており、そういう表現をすると良いのではないかと。

- 高山委員 「ひととまちをつなぐ」の「つなぐ」というところに交流という意味合いもあるので「にぎわいとゆとりの拠点」というのはどうか。
14 ページの七夕まつりの来場者数が 20 万になっているが、全体の来場者数という捉え方なら 200 万にご訂正をいただきたい。
- 千葉局長 コンセプトを一つの言葉で表し切るとするのは難しい。ゆとりという部分がある公園なので、ゆとりの拠点というのは日本語として使いづらい。基本コンセプトの下の表現の中で解説したい。
先ほど、姥浦委員から指摘のあった参考資料 1-1 の一体的利活用を中心となるエリアについては、基本構想の中で一つの柱として企画提案したい。
- 福興課長 サードプレイスについては、パース図が非常に開放的になっているが、現状は木立の中で休むような空間になっている。今後の空間の作り方によってタイトルの付け方は変わっていくと思うが、都心の中にひっそり休めるようなところがあることも大事な公園機能と考えており、このような提案としている。
- 本江座長 サードプレイスは、職場とか自宅など固定的なものに対する第三の場所であり、ここであればオフィス街だが商店街や小売店の場所の間であって、どちらにも重なる場所である。キャラクターがはっきりしているものの間であって、多様な状況の利用者を受け入れる場所というニュアンスで使うので私は違和感がないが、いかがか。
- 渡部座長代理 サードプレイスは主体がどう捉えるかということなので、それで良いと思う。
交流というのは交わってにぎわいという気がするので、「にぎわいとゆとりの拠点」というのがしっくりくる。つなぐという言葉に交流があって、情報の交流みたいなものもある。「にぎわいとゆとり」が通じやすいのではないか。
- 本江座長 「つなぐ」が一番大きいキーワードで、そこにゆとりとにぎわいまでいろんなものがある。つながりあっている拠点を作るとのことだと、「つなぐ」を残して「ゆとりとにぎわいの拠点」というのが良いのではないか。
- 千葉局長 その方向で考えたい。サードプレイスは夜のひそやかな場所、安心して佇める空間を作っていきたい。
- 岩間委員 サードプレイスがどうありたいかが伝わったのでよかった。
- 福岡委員 19 ページにユニバーサルデザインという言葉があるが、仙台市の中でユニバーサルデザインという言葉が使われているのか。昨今ではインクルーシブデザインという言葉もあり、東京都は使っている。
11 ページの利用形態・利用パターンに関連して、喫煙所をどうするは整備計画では大きな課題である。公園の使い方としていろんなことができるのと、喫煙の場所等は考えた方が良いのではないか。
4 ページ目のウォークアブルの回遊構造に関して、公園を計画していく上で重要なのは、どういう回遊構造、回遊ルートを作りたいかということ。参考資料 1-1 でエリアの分け方について、勾当台はその中の心臓部と思うので、ウォークアブルの回遊構造を今後基本計画の中で、周辺の都市のエリアと回遊性をもう少し解像度を上げてみていくことができれば良い。
16 ページ勾当台公園の特性に 3 つの広場と書いてあり、新本庁舎の方は 4 つ広場があり、今後基本計画の中で、それらはどのように関係づいていくかを検討することが大事である。「市民活動を象徴する」について、まちから見たときに公園を介してどんな都市を作っていくのか、どんなエリアを作っていくのか。

かという反転させた検討が基本計画の中に入っていくと良い。

1 ページの事業とスケジュールとの兼ね合いについて、もう少し引いた500m 圏くらいで整理されると、それらとの連動を図っていける視点を持てるのではないかと。

千葉局長 たばこについて非常に重要な検討課題である。基本計画の中で検討したい。

福與課長 インクルーシブという言葉を使うと一般の方はインクルーシブ遊具のことをイメージされるということもあり、ユニバーサルデザインという言葉を使った。

ウォークブル推進都市については、担当課と議論をしながら具体的な中身については今後並行して検討を進めていきたい。

16 ページの勾当台公園の特性として「3つの広場」は現況のことで、今後、新本庁舎の広場などとの連携があり、基本計画で検討したい。

市民活動の象徴の表現については、勾当台・定禅寺通エリアビジョンという上位計画の中での表現であり、今後の検討においては、公園からの投げかけも必要と考えている。

1 ページのスケジュールについては、他の関連事業についても掲載するよう、基本計画の中で対応したい。

本江座長 11 ページの喫煙について、公共空間の喫煙に対するポリシーを市全体として持っているのか。

福與課長 公園については、受動喫煙への配慮ということであり、禁煙や分煙などガイドライン上はなっていない。

本江座長 このようなことを変えていく最初の機会になればということであり、忘れないように計画に反映させようということになれば良いと思う。

岩間委員 19 ページの再整備の方向性で「5.エリアマネジメントの展開」に関して、懇話会は具体的な整備についての話し合いだとか、一体的な利活用を推進していく組織の団体は資料に書かない方針なのか。

福與課長 管理・運営に関する方向性などを、基本計画の中には書き込みたいと思う。

岩間委員 今、榴岡公園の社会実験でバーベキューをやっているが、その区画は社会実験だからわかりやすかったが、近隣住民から社会実験区画とわからずに、学生グループが勝手にバーベキューやっていたと話があり、誰に言ったら良いかわからないという声があった。(管理の)役割の話につながると思うが、わかりやすい情報発信、組織や手法などを検討する必要がある。

福與課長 最近は市民団体の方や地域の方々が運営を担うこともあるが、基本は区役所なり、市役所なりに連絡してもらうことになるが、(管理運営を)行政から地域に落としていったときに、問題はいくつか発生するが、それを一つ一つ解決しながら、よりよい運営環境を作っていきたい。

岩間委員 17 ページの利用形態について、聴覚を象徴するようなものを上の段の朝などに入れても良いのではないかと。

福與課長 楽器は難しい問題の一つでもある。地域性があるって、住宅地だったら例えば小さな音でも朝やったら迷惑がかかる。今ここで(勾当台公園で楽器を)やれませうという話までは言えないが、運営組織があり、その中でルールを決めれば、よいと思う。

- 本江座長 16 ページの「多様な活動主体と参加する市民」の二つ目に「緑に染み込むクラシック音楽を聴いて癒される」とあるので、爆音でなければいいのではないか。
- 福與課長 爆音ではない写真をここにに入れることならできる。
- 高山委員 19 ページのエリアマネジメントの展開で公園活動団体設立の検討とあるが、どういう組織なのか。20 ページのパース図には 227 カフェがないが、整備にあわせて撤去されるのか。
- 福與課長 管理・運営については議論が十分できていない。全体のエリマネの組織や企業が何か施設を作ってそれを中心とした活動、勾当台公園の活動団体のようなことがあっても良いというレベルで書いている。
トイレやカフェについては今後検討の余地はあると考えている。
- 本江座長 運営の仕組みの議論は引き続き懇話会とするのか、運営組織についての議論のスケジュール感はあるか。
- 福與課長 今のところ運営組織についての検討スケジュールは作れていない。ハードを中心に基本計画を策定していく中で、将来担い手になる方などの意見を聞きながら、どのような組織でやれるか等を基本計画の中で情報を取っていく形になると思う。
- 本江座長 時間がそんなにあるわけでもないので、可能性の検討はなるべく早くイメージしていただきたい。
- 姥浦委員 市役所（建替）で検討していることと一体的に検討していかないと、結論が出ないとかバラバラになってしまう。公園としてどういう維持管理なりマネジメントなりが望ましいのかということを出したうえで市役所の部分とすり合わせていく。そのプロセスの中で組織自体、実験的にやっていくということになるので、お互い社会実験的なことをやりながら、3～4 年後に向けてすり合わせていくということになると思う。
- 千葉局長 今年度基本計画を進めるが、低層部の検討の利活用の中でもどこがフィールドとして使えるのかの検討が必要で、表小路線の通行止めの社会実験をやるという話もあり、つなぎ横丁の使い方も含めながら、利活用するフィールドを固めないと運営する検討に入れない部分がある。
- 本江座長 ここはしっかりお願いしたい。各委員から出た意見、議論を踏まえて、少しの修正と基本計画段階でやるべきことの宿題を投げかけたので、対応いただきたい。サブタイトルは議論のあったコモンガーデンを作るという基本理念を共有して、コモンの場所をちゃんと作る。ゆとりとにぎわいの繰り返しになるが、楽しいだけの場所ではないというのが前提で、社会的に民主主義が危機を迎えていることもあり、コモンの場所、市民が集まって活動する場所、ここではいろんな異議申し立てもあるし、たくさんの議論もある。
みんなが集まって仙台市というものを作っていくことが大事になるので、ひととまちをつなぐ覚悟を持って進めてほしいと思う。リラックスできるだけの公園を作るだけにならなかったことはよかったと思う。都市のど真ん中の公園というのは山の中や住宅地の公園とは全然違う責任と役割があると思う。それを踏まえたものとして作るということのを共有して進めてもらいたい。
今日の議論を踏まえて、少し直していただき、これで懇話会としての基本構想の最終案ということで、まとめてよいか。

委員一同 了承

本江座長 今のことを少し反映していただき、懇話会のとりまとめとしたい。以上で議事を終了する。

4. 閉会

千葉局長 本日のご意見は、次の基本計画に向けた宿題と受け止めている。引き続きお願いしたい。

以上